

よしかわ

News from Yoshikawa City Council

議会だより

No.203

2024.11

発行：吉川市議会
編集：吉川市議会広報委員会
〒：342-8501 吉川市きよみ野一丁目1番地
TEL.048 (982) 9421 (議会事務局 直通)
FAX.048 (981) 5392
<http://www.city.yoshikawa.saitama.jp>



目次CONTENTS

9月定例会概要・決算	2
決算討論	4
委員会審査概要	6
答えて市長！一般質問	8
意見書	12
審議結果	14

市議会へ
アクセス
してみよう！



マチイロ

検索



議会だよりは
スマートフォンアプリ マチイロでも読めます

9月定例会 概要



令和6年9月定例会は、9月2日から9月24日までの23日間の開催となりました。
 今回の定例会では、令和5年度吉川市一般会計決算の認定をはじめ、令和6年度吉川市一般会計補正予算(第3号)などの市長提出議案27件(2~5ページ)、議員提出議案として4件の意見書(12~13ページ)などを審議し、議決しました。(審議結果は14~15ページ)
 その他、「市政に対する一般質問」(8~12ページ)をお知らせします。

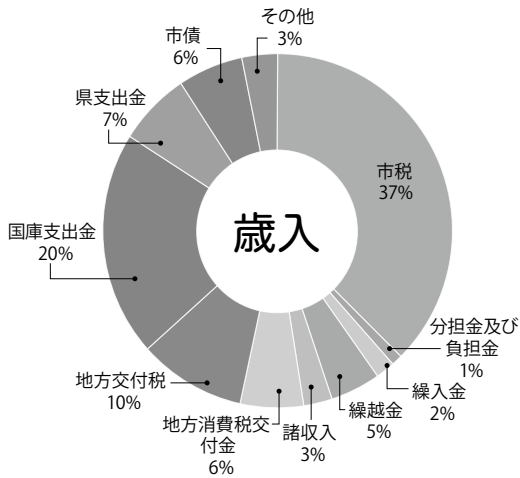
令和5年度決算を認定!

◆吉川市一般会計決算

令和5年度吉川市一般会計決算は、歳入が27億6億1050万9千円、歳出が26億2714万5千円となりました。前年度比は、歳入総額は4億9671万円(1.8%)、歳出総額は3億9416万2千円(1.5%)の増加となりました。
 歳入は、市民税や固定資産税の増加などにより、市税が2億729万3千円増加しました。一方で、道路事業などが対象となる社会資本整備総合交付金の減少などにより、国庫支出金が4億1613万6千円減少しました。
 歳出は、市民交流センターおあしす長寿命化事業などにより、教育費が7億6908万円増加しました。また、物価高騰対応支援給付金給付事業などにより、民生費が4億2352万8千円増加しました。

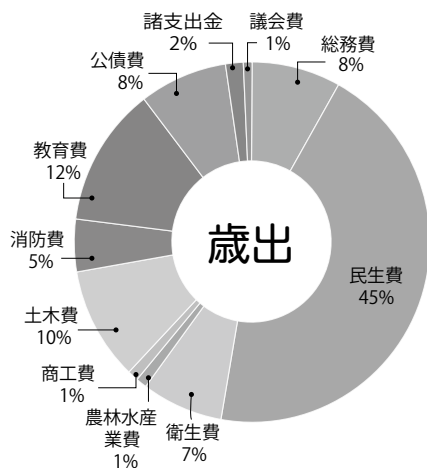
歳入

区分	決算額(千円)	対前年度比(千円)
市税	10,369,752	207,293
分担金及び負担金	277,600	66,705
繰入金	488,167	△8,422
繰越金	1,280,816	97,500
諸収入	728,715	△75,826
地方消費税交付金	1,614,797	△1,645
地方交付税	2,736,403	185,575
国庫支出金	5,682,887	△416,136
県支出金	1,854,120	114,101
市債	1,667,153	267,835
その他	910,099	59,730
歳入合計	27,610,509	496,710



歳出

区分	決算額(千円)	対前年度比(千円)
総務費	2,120,083	90,864
民生費	11,729,322	423,528
衛生費	1,941,932	28,770
農林水産業費	259,381	△29,759
商工費	257,597	4,139
土木費	2,666,429	△304,863
消防費	1,235,692	33,396
教育費	3,289,725	769,080
公債費	2,098,432	143,509
諸支出金	422,136	△765,869
議会費	206,416	1,367
歳出合計	26,227,145	394,162



令和5年度に実施された
主な事業

◆市民交流センターおあしす
長寿命化事業

平成11年に開館した市民交流センターおあしすの機能回復を中心とした中規模修繕工事を実施しました。

外壁・屋上の防水工事、照明器具のLED化、空調機の入替えなどにより、耐用年数の延伸を図りました。

◆吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業

平成29年度から事業を開始している中、令和5年度は、盛土工事や区画道路工事、上下水道管布設工事などの範囲を拡大して整備を進めるとともに、駅前広場のシエルト工事の着手や幹線道路の歩道舗装と照明灯の工事を行い、歩行者が安全に通行するための施設を整備しました。

また、1号調整池の運用開始や地区の骨格となる幹線道路の暫定供用開始を行うなど、整備を進めてきた施設の使用

も始まっています。このほか、駅前前の商業・業務ゾーンについて、事業者募集を行い、優先交渉権者が決定しました。



◆物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業

令和5年11月に閣議決定された「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づく国の令和5年度補正予算及び予備費で措置された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金による住民税非課税世帯や住民税均等割のみ課税世帯への給付金給付事業、また、当該世帯のうち18歳以下の子どもを扶養している世帯への加算給付金給付事業を実施しました。

このほか、この交付金を活

用して、価格高騰などの影響を受けている市内福祉施設や農業経営者、事業者等への支援金を通し、事業継続を支援するほか、小中学校等への入学予定の児童生徒等に対する入学等準備応援金を給付しました。

◆スクールロイヤーの設置

子どもたちが安心して通える学校づくりのため、児童生徒に係る様々な問題等に対し、中立的な立場で法的な助言や指導を弁護士からもらうためにスクールロイヤーを設置しました。さらに、教職員への研修や児童生徒に対する出張授業などを実施し、問題の未然防止や早期解決を図りました。

◆アクアパークスケードボード用セクションとバスケットコート整備事業

スケードボード初心者向けの設備の設置と経年劣化が進んでいたバスケットボールコートのリニューアルを実施しました。

◆特別会計・企業会計

特別会計は特定の目的のための会計です。皆さんの健康保持に欠かせない国民健康保険、介護保険及び後期高齢者医療事業。また、快適に暮らせるまちづくりを進めるための農業集落排水事業、吉川美南駅東口周辺地区の整備を行うための吉川美南駅周辺土地区画整理事業があります。

企業会計は市が経営する企業の会計のことです。日々の生活には欠かせない水道事業及び下水道事業があります。決算は左表のとおりです。

特別会計・企業会計決算

(単位：千円)

会計名		歳入（収入）	歳出（支出）
国民健康保険		6,480,190	6,346,685
農業集落排水事業		79,708	35,235
介護保険		4,553,567	4,398,804
後期高齢者医療		915,645	904,338
吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業		4,791,544	4,744,997
下水道事業※	収益的	1,577,574	1,398,746
	資本的	949,506	1,209,974
水道事業※	収益的	1,601,147	1,499,360
	資本的	204,318	828,620

*資本的収入が資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てん。

決算討論

〔一般会計〕

一般会計決算に対し、5名が討論をおこないました。



― 反対討論 ―

雪田 きよみ 議員

マイナンバーカードの普及が求められた市民課職員の間平均時間外勤務時間は、令和元年度200時間から令和5年度678時間と、5年間で3倍近く増えた。重点的に何かの政策を進めるのであれば、それに見合った職員をまづは配置すべき。職員のいのちと健康を大切に施策

を求める。

三郷市の保育士募集のホームページを見ると、「最大4万5千円給与上乘せ」と大きく明示している。一方、吉川市では「フルタイムでなくても働ける」等の表記であり、これで本当に保育士確保ができるのか。保育事業者と十分話し合い、理解し合える関係を築いてほしい。

カーブミラーの設置要望は17件だったが、実績は0。今年度は予算化もしていない。せめて予算化はするべき。

― 賛成討論 ―

菊名 克典 議員

令和5年5月に新型コロナウイルスは感染症法上の位置づけがら類になり、市民生活や市民経済も過渡期を迎えています。

農業振興事業及び商業活性化推進事業においては、情勢

を的確に判断し、原油等の価格高騰緩和を図る支援策を講じていることを評価します。教育面では、スクールロイヤールを設置したことによる、よい教育効果や学校現場の負担軽減がされることを期待しております。また、総合治水対策としては、被害を受けた地域に対し、可搬式ポンプを購入するなど着実に押し進めていただいております。冠水被害の軽減に今後も務めていただきますようお願い申し上げます。

― 賛成討論 ―

林 美希 議員

吉川市の地理的要因から避けられない治水対策として、国・県が果たすべき河川管理

事業に対する意見交換と、市がなすべき対策が進められてきた。指定避難所となる小学校体育館・総合体育館への空調設備整備、避難所運営に必要な情報の整理と都度見直しが図られている。

学校におけるICT活用も浸透。スクールロイヤール導入初年度、中立公平な立場から法律的助言を行うことで学校現場を支援。産後ケア事業も初年度だったが、今年度の充実に繋がられた。

社会情勢、自然災害の影響が著しい中、多くの給付金事務を遂行、事業の取捨選択と継続を重ねたと評価し、賛成する。

― 賛成討論 ―

岩田 京子 議員

令和5年度は4年ぶりにイ

ベント等が開催されるなど、通常の生活が戻りつつあった1年だった。低所得者対策、産業対策等の支援も重ねられた。マイナンバー関係では時間外勤務を余儀なくされたが柔軟な職員体制に安堵した。

類似事業の統合への見直しや、演劇事業の在り方等課題もあるが、これまで指摘し続けた森林環境譲与税においては妥当な使途に改善された。

コロナや経済対策のための交付金、また人口増により増えた交付税により財政が安定に向かっている。財政健全化指標である実質公債費比率や、経常収支比率において改善が見みられることから、令和5年度決算は賛成とする。

― 賛成討論 ―

大泉 日出男 議員

歳入決算額は276億10

50万円、歳出決算額は26

2億2714万円となりました。

第一の特徴としては、前年から引き続き社会情勢を見ながらの原油・物価高騰等に對しての支援です。食料品等価格高騰重点支援給付金、よ

しかわくらしサポート商品券給付、物価高騰対応支援給付

金、均等割のみ課税世帯支援給付金等々、物価高騰に喘ぐ

低所得世帯や事業所・農業者等への切れ目なく丁寧な支援

を実施。多くの市民・事業者を救ったものと高く評価いた

します。また、昨年9月にこ

提案したラインアプリによる防災情報発信にも取り生まれ、

これも市民の安心安全に資するものとして評価。

【国民健康保険特別会計】

国民健康保険特別会計決算に対し、1名の議員が討論をおこないました。

― 反 対 討 論 ―

遠藤 義法 議員

吉川市は令和5年度からの

国保税を引き上げました。4

人家族で給与収入が430万

円の国保税が43万300円か

ら45万700円に2万400

円、4.7%も引き上げられ

ました。

所得が減っている中で値上

げを行い、さらにこれから毎

年国保税を引き上げる市の計

画です。1人5万9千円の均

等割は子育て支援に反してい

ます。国の公費負担を抑え、

市の一般会計繰入を減らし、

全廃する計画が大きな要因で

す。

国保加入者は、無所得者、年

金生活者、非正規労働者など

所得が低い方々が加入してい

ます。社会保障制度として国

の公費負担、市の一般会計か

らの繰り入れを行い、市民の

暮らしと健康を守るべきです。

【介護保険特別会計】

介護保険特別会計決算に對

し、1名の議員が討論をおこ

ないました。

― 反 対 討 論 ―

雪田 きよみ 議員

令和5年度の当初予算と決

算とでは、約2億円の乖離が

みられる。

介護職員の不足は本当に深

刻であり、特に訪問介護で深

刻である。ケアマネは一人ひ

とりの生活を十分に見てアセ

ズメントをし、プランを作成

している。そのプラン通りの

介護サービスが提供できない

現実是非常に深刻な問題。こ

うした現状の積み重ねの中に

2億円の乖離があると考え

る。

介護事業所にとっても、事

業の継続が非常に困難になっ

てきている。今夏、定期巡回

サービス事業所が事業を休止

した。事業所が安定的に経営

することができるよう、市は

何をすべきかしっかりと考え

ていただきたい。

主な議案のあらまし

人事案件

◆吉川市地域公共交通協議会
条例の一部を改正する条例

道路運送法及び道路運送法

施行規則の一部改正に伴い、

運賃等の協議を行う場合、独

占禁止法に抵触することがな

いよう、協議を行う関係者を

限定することとなったことか

ら、吉川市地域公共交通協議

会の中に、構成員を限定した

分科会を設置するための変更

などを行います。

◆吉川市農業委員会の委員及

び農地利用最適化推進委員

の定数に関する条例の一部

を改正する条例

農地面積の減少により、農

業委員会等に関する法律施行

令で定める基準（農地面積が

1300ha以下の場合、農業

委員の上限は14人）に従い、

農地法に基づく許可の審査な

どを行う農業委員の定数を現

行の18人から14人に見直そう

とするもので、令和7年4月

1日から施行となります。

遊休農地の解消活動などを

行う農地利用最適化推進委

員の定数6人の変更はあり

◆教育委員会委員の任命に

ついて

教育委員会委員の小林照

男氏が令和6年9月30日を

もって任期満了となるため

再度任命することに同意す

るものです。

◆固定資産評価審査委員会

委員の選任について

固定資産評価審査委員会

委員の戸井田均氏が令和6

年9月16日をもって任期満

了となるため、その後任に

土屋雄志氏を選任することに

同意するものです。

追加議案

◆財産の取得について

令和2年度と令和6年度

に取得した吉川市立小学校

の教員が使用する教科書及

び指導書等については、条

例の規定に基づき、予定価

格が2千万円以上であるこ

とから、追認の議決を得る

ものです。

委員会審査概要

総務健康常任委員会

◆一般会計補正予算

予防接種委託料と予防接種負担金の補正は当初予算の不足分とのことだが、その理由は。

昨年末、国はワクチンの購入単価を3260円としていたが、今年2月に11600円程度に見直した。市が今年6月に徴取したワクチンの見積額は12100円であったため、これに手技料3575円を加えた15675円を1回あたりの接種費用として積算し、不足する額を補正するもの。

出産・子育て応援給付金の実績は。
妊娠届出の際に5万円、出産後に5万円を支給する事業

で、令和5年2月から事業を実施している。令和5年度の実績は、遡及対象者が出産81件、子育て51件、事業開始後は出産456件、子育て449件である。

賛成全員で可決

◆一般会計決算

コンビニ交付サービス証明書等交付手数料を一律100円へと減額したが、利用件数とそれに対する評価は。

令和4年度10156通から令和5年は22755通と増加しており、証明書総交付数に占めるコンビニ交付数の割合が30%となった。身近なコンビニで証明書を発行できることによりマイナンバーカードによる利便性の向上についての周知にもなった。今

年10月から各種証明書が発行できるマルチコピー機を設置する予定。

賛成多数で可決



委員長報告を行う赤出川委員長

子ども教育常任委員会

◆一般会計補正予算

ICT教育推進事業の「心の健康観察」について、児童生徒からの相談への対応は出来ているが、内容ははっきり把握できていないとあった。

内容の把握は大事だと考える。先進地を視察するにあたり、この対応についてどう考えているか。

子どもたちがSOSを発信できる仕組みづくりが一番大事。その次にSOSに対して学校が組織的に対応することが大事だと考えている。事情に応じた対応が必要だが、先進地を視察しながら、研究を速めていきたい。

賛成全員で可決

なことが変化し、教育委員会としても学校に対し様々な形で指導しているが、なかなか改善は見られない状況。

就学援助制度について、対象者が決まっているのだから、プッシュ型で扶助するということは考えないか。

現時点でプッシュ型の扶助については検討していない。全国を見ても申請の上で扶助をする制度設計がされている。そこを変えるという具体的な議論はしていない状況である。

◆一般会計決算

小中学校の不登校児童生徒数は令和元年度94名から5年度の227名と倍以上に なっている。不登校児童生徒数の推移をどう考えるか。

不登校児童生徒数の増加は教育委員会としても危惧している。コロナ禍以降、様々

吉川中学校の蔵書数について、学校図書館図書標準より約4千冊不足している。今後の計画について確認したい。

吉川中学校の蔵書数に関しては、令和6年度の予算から通常の予算にプラスして予算付けをし、図書標準まで10年ぐらいかかるところを半分程

度の期間で合わせられるように想定している。

賛成多数で可決



委員長報告を行う吉川委員長

建設生活常任委員会

◆吉川市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の一部を改正する条例について
定数を18名から14名に変える提案で、提案理由に農地面積の減少により農業委員会等に関する法律の定める基準に従い、農業委員の定数を見直したいとのことだがその基準

は。

農業者数が11000名以下又は農地面積が1300ha以下の場合、農業委員の定数を14名にする基準があり、今回吉川市内の農地面積が1300ha以下になったことをもって14名に変更するもの。

賛成全員で可決

◆一般会計補正予算

吉川駅北口広場改修事業の信号機移設に伴い設置される仮設の照明灯は、LEDとなるのか。

仮設の照明灯は、LED照明を設置する予定。

賛成全員で可決

◆一般会計決算

カーブミラーの設置や修繕の状況は。

令和5年度は、17基の新設のご要望があったが、いずれも設置基準に基づき判断し、設置はしていない。修繕については、複数箇所に対応している。

賛成多数で可決

◆下水道事業会計決算

既存の下水道管の耐震工事はいづからか、また耐用年数ほどの程度なのか。

市内に布設している下水道管渠の法定耐用年数は50年であり、すべての管渠が法定耐用年数に達していないため更新した管渠はない。令和7年度に実施する下水道事業経営戦略の見直しの中で議論が行われるところ。

賛成全員で可決



委員長報告を行う大泉委員長

注目の議案

●心の健康観察「心音〜こね〜」事業

一般会計補正予算(第3号) 心の健康観察とは

文部科学省が策定した「COOLOプラン」に基づき、埼玉県と吉川市を含む4市町が連絡会議を設置し、児童生徒のいじめ、不登校、自殺リスク等の早期把握などを目的に実施します。

◆「心音〜こね〜」とは

心音は、吉川市が独自で開発したアプリケーションで、児童生徒が学校で使用しているPC端末から自身の心の状態を入力します。設問は全3問で、「今の気分」「その気分を選んだ理由」「先生に伝えたいことの有無」を選択式で回答します。気分が沈んでいる傾向にある児童生徒をピックアップする機能等を有し、回答結果は担任と管理職等で確認します。

◆「心音」のねらい

①悩みを一人で抱えて、助けを上手く求められない児童生徒に適切なタイミング

で支援を届けます。
②未然防止・早期発見・早期支援ができるよう、子どもたちの小さなサインを見落とさないようにします。

●吉川美南駅東口周辺地区1号調整池修景工事

吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業地内の1号調整池を多目的に利用できるように整備する工事です。

少年サッカーコートとしても使用可能な多目的広場として、グラウンドの舗装や防球ネットの設置、園路の一部や駐車場、隣接する1号街区公園の水飲みやトイレなどを整備しようとするものです。

工期は、契約締結日から令和7年9月30日までです。



治水対策で一部前進も 南中周辺は具体化に至らず

降旗 聡



問 吉川駅北口周辺地区、須賀・榎戸地区、南中学校周辺地域の治水対策について。

答 吉川駅北口周辺地区は、共保雨水ポンプ場の増強と、流下能力の向上を図るため一部雨水管の布設替えに向け、関連する都市計画や下水道事業計画などの変更手続きについて、県と協議しながら年度内の完了をめざし進めている。

須賀・榎戸地区については、今年度、新たな大型エンジンポンプ車への更新を進めており、年度内に納品される予定である。また、この地区では都市計画道路「越谷総合公園川藤線」の計画があり、将来的にはその整備に合わせた雨水対策などが考えられるところなので、機会を捉えて検討していく。

南中周辺地域については、かねてから調整池などの雨水貯留施設の必要性を認識しており、これまで様々な検討を重ねてきたが具体化には至っていない。

治水事業は、長い年月と多くの財源が必要となる。そのためには、しっかりした計画をもって推進していくことが重要であり、引き続き十分に検討しながら取り組んでいく。

答えて市長！ 一般質問

今定例会では、9月19日(木)、20日(金)、24日(火)の3日間にわたり18名の議員が市政全般について、市の見解をただしました。主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、12月上旬となる予定です。



小学校通学路の防犯体制の強化を

大泉 日出男



問 第4次吉川市防犯推進計画の中で地域と行政、更に県や事業者や警察との役割分担が明記されている。一番身近な「子ども110番の家」は緊急避難場所となるが、加入件数、運用内容、周知、啓発はどのようにされているか。

答 本事業は平成11年に吉川警察、PTA連合会、商工会の連携により開始。607件の登録、被害に遭いそうになった時の一時保護、各学校・PTAの活動の中で主体的にご尽力を頂いている状況。

問 地域の方のご協力等での「人の目」が大変有効だが、人の目を補完するかたちで防犯カメラを設置することは、犯罪における抑止や未然防止につながり安全性の向上となる。ご所見を伺う。

答 防犯推進計画の中で「みんなで力をあわせ犯罪のない、安全で安心のまちづくり」を基本理念としており、地域、PTA、学校、事業者、警察と連携し犯罪を起こさせない環境づくりが重要と考える。今後も引き続き全体の意識の高揚や地域自主防犯活動団体等の連携強化に努めていく。

迅速な使用で命救うAED 設置の拡充を

五十嵐 恵千子



問 突然の心臓発作を起こした人に電気ショックを与えて救命するAEDは、市内まんべんなく、24時間対応できる状態とする事が重要と考える。①市内設置・利用状況とご意見・ご要望の声は。②これまでの設置に関する研究の経過とコンビニへの積極的なAED設置推進について伺う。

答 ①8月末現在の市内AED設置箇所数は106箇所。民間施設での利用は把握していないが、公共施設で昨年5月に使用。意見・要望は無し。②屋外やコンビニへAEDを設置した他市の情報収集や課題整理を行い、小中学校の屋外設置を実現。課題はあるが望ましいAEDの運用方法を検討する。

◆認知症の人に寄り添うユマニチュードの取組みを

問 ユマニチュードとはフランス発祥の認知症ケア技法です。「あなたを大事に思っている」事を相手が理解できるように伝えるこの技法を皆で学び実践する事で、当事者の尊厳を守り、安心して暮らせる吉川市を願い提案。ご見解を。

答 認知症の方等がより安心して暮らすために有効な手法と考え、知識の共有と普及を図る。

学童保育室について

菊名 克典



問 現在、学校から出される宿題ではタブレットを使用するものがある。しかし、学童保育室内ではタブレットの使用ができないため、宿題をすることができない。子どもたちの学びを滞らせないためにも、学童でもタブレットをネットに繋げ、学べる環境を構築する予定はあるか。

答 基本的に学童保育室内においてタブレットを使用した学びを行うことは、児童の成長にもつながるものであると考える。そのため、タブレット使用にあたっての環境面や運用面の課題を整理し、可能なところから取り組むよう検討を進めていく。

問 学童保育室運営アプリ「コドモン」には様々な機能が、その中に児童の入退室時間をICカードやQRコード、タッチパネルといった方法で正確に記録する方法がある。記録することで保護者にメール/プッシュ通知することができるが、このような機能を使っているか。

答 コドモンのシステム機能について必要性の高いものから順に活用してきた。入退室管理機能についても現場の意見を聞きながら早期に取り組めるよう調整を行っていく。

屋外プール跡へ小中水泳授業・幼児用屋内外プールを

小野 潔



問 全国的に小中学校のプールの老朽化が顕在化しており、熱中症対策、教員の水泳授業の負担感への配慮も取りざたされている。①小中学校水泳授業の状況は。②三輪野江小学校は深刻な老朽化により使用せず、民間施設を利用しているが、委託内容や費用面、教職員の負担感配慮については。③三輪野江小学校以外の小中学校の経年劣化の状況は。④他自治体で策定されている今後の整備方針や基本方針等の策定は。⑤現在東中で使用している公営の屋内プールは、他の小中学校も利用可能か。⑥公営屋外プール跡地へ、小中水泳授業や一般開放ができる屋内プールと幼児等が利用できる屋外プールを併設しては。

答 ①各校年6時間～12時間実施。②補修は3千万円、更新は約3億円、民間委託は106万円、移動バス代40万円でコスト削減になり、教職員の負担軽減にもなる。③栄小、南中、中央中は築後30年が経過し、大規模改修(2億円)が、旭小は築後60年が経過し、更新(3億5千万円)が必要。④年度内には策定する。⑤可能性はあるが協議が必要。⑥提案の趣旨も含め様々な検討をする。

コロナワクチン 秋冬定期接種について

宮窪 雅一



ワクチン接種は強制するものでも、されるものでもなく、メリット、デメリットの正確な情報提供により自己判断で行うのが大前提です。

問 インフルエンザワクチンを含めた全ワクチンの健康被害救済制度認定数は、過去45年間で3522件、うち死亡認定151件に対し、コロナワクチンは過去3年間(8月22日現在)で7970件/777件となっており、健康被害が大きいと言わざるを得ない。コロナワクチンに関するメリット・デメリットについて、より詳細な情報を市民に提供すべきではないですか。

答 国で示されたメリット・デメリットをそのままお伝えするに尽きると考えている。

問 レプリコンワクチンは全世界を見渡しても日本しか認めていないという問題、接種者から非接種者に感染するのではないかと懸念、将来の安全性、人体の細胞内の遺伝機構を利用する等、従来のワクチンとは性質が異なることを伝えるべきでは。

答 国で検証されたものであり、国の示すメリット・デメリットをそのまま市民にお伝えすることに尽きると考えている。

道路・歩道の整備について

赤出川 義夫



問 市道の除草に関する苦情・要望件数と取組みは。

答 令和5年度で83件、令和6年8月末現在で103件。取組みとして、いちよう通りやけやき通りなどの植樹帯設置、27路線のほか、約100か所の市道において、年間約1億円をかけ民間事業者、シルバー人材センターに委託し、樹木の剪定や除草を実施している。

問 いちよう通りやけやき通りの歩道へのベンチを設置出来ないか。

答 当該路線は植樹帯があり、今後、歩道における植樹帯のあり方を検討して行く中で、参考とさせていただきたい。

問 吉川橋から吉川小学校地先の堤防下道路の拡幅の計画は。

答 中川の河川区域内に位置し、幅員約4mの市道です。当該道路には、国が管理する中川の吉川水位観測所の関連施設や、堤防の雨水を排水する水路などが整備されているほか、警察管理の速度規制標識も設置されており、移設の可能性など関係機関に確認し、検討してまいります。

骨粗しょう症予防の 取り組みについて

岩崎 小百合



問 市民の女性から「吉川市では骨粗しょう症の検診がありません。他の自治体では実施しているところが多くあります。閉経後の50代くらいから検診を勧め、カルシウムの摂取や運動など予防に努めれば、高齢になってからもより元気に豊かな老後を過ごせ、介護予防にもなると思います」と声が届きました。近隣の5市1町で骨粗しょう症検診を実施していないのは吉川市だけです。今まで市民から骨粗しょう症検診の要望はありましたか。また、検診を検討されたことはありますか。

答 検査のお問合せやご要望は数件ありました。平成19年度まで検査を行っていましたが、医療機関における任意の検査実施状況を鑑み、市が実施する検査としては一定の役割を終えたと判断し、終了した経緯があります。

問 “自身の骨密度に対する不安の声”が予想を超えて他にも多く寄せられています。市民の要望を反映した上で、改めて骨粗しょう症検診についてご検討いただけないか、ご見解は。

答 他市の実施例は参考にしますが、現段階で市の実施は考えていません。

公共施設の再エネは進むも 省エネ・創エネはこれから

岩田 京子



問 エネルギービジョン策定から3年。公共施設での再エネ化は進んだ。省エネと創エネが弱い。省エネによりエネルギー使用総量を小さくして、そこを再エネに切り替える、できたら地域電力を使うのがよい。近年、PPAなど、事業者が建設・運転・保守管理を行い、行政が懐を傷めずに、むしろ借地代を得ながら再生可能エネルギーの促進が可能だ。そこで①ソーラーシェアリング②公共施設の駐車場でのソーラーカーポート③配水場での水力発電等の可能性について市の考えを伺う。

答 太陽光発電は吉川市の地の利では一番効果がある。①吉川市では実績はない。令和6年4月から農地法施行規則が改正されたので、その内容やソーラーシェアリングの周知を図っていく。②ソーラーカーポートについては、具体的に検討していないが、設備費の負担、近隣への反射光の課題もあり現在考えていない。③配水場での水力発電所については、令和3年度に一事業者から提案があったが採算がとれないと実施に至らなかった。今後も模索したい。次世代につなぐため、しっかり取り組みたい。

県道越谷吉川線・大場川か ら中井地区の安全対策を

加藤 克明



問 県道越谷吉川線吉川工区分、大場川から中井地区の信号柱・横断歩道の設置について、また、議会において採択された越谷吉川線に信号柱と横断歩道の設置を求めた請願について伺う。

答 県道加藤平沼線との接続部分と中井3丁目市内市道2-303号線の接続部分2ヶ所について警察と協議、信号機と横断歩道の設置を要望してきた。このうち加藤平沼線と接続する交差点に定周期信号と横断歩道が設置される予定。市道2-303号線の接続部分については、まだ見通しが立っていない。地域の意向を踏まえながら引き続き要望していく。また、中央2丁目2番11先における請願で採択された信号機と横断歩道の設置については現在見通しが立っていない。県施工区間である吉川橋付近の4車線供用開始を踏まえ交通量調査を実施した上で改めて要望する予定となっている。9月下旬に交通量調査を実施する予定となっており、その結果を踏まえ改めて要望していく。

教員不足の現状、対策

林 美希



問 様々な事情がある現場教職員の心理的安全性が担保されない状況とならないよう留意し質問する。教職員の配置・欠員状況は。

答 年度当初時点での未配置はなかったが、9月1日時点で計6名の欠員。

問 教職員不足による児童生徒への影響は。

答 教務主任や担任以外の教員が担任業務を行う、受け持つ授業を組み替える等しているが、定期テストが実施できず1学期末評価を付けられなかった学校があった。

問 市独自の教職員確保策の有無は。

答 緊急的に市費で短時間任用をしている。

問 教職員採用は県所管であっても、できていなくて市の子供達に影響があるならば市はさらに尽力すべきと考える。臨時的に柔軟な働き方ができることのPRと人材の掘り起こしをすべきと考える。また、県による代員が来ない代わりに市による任用が市単費であることに納得がいかない。県にしっかり働きかけるべきでは。

答 現状は極めて由々しきこと、市の子供達にあってはならないこと。教育長会議等を通し現状を伝え、要望していく。

国際的な有事にも強い食料 安全保障体制の強化を

吉川 敏幸



問 本年8月、スーパーの棚からお米が消え、令和の米騒動とも言われている。農水省によれば、今年のお米の生産量の見通しは669万t、需要量は681万tである中、政府の備蓄米は約100万tである。一方、中国は国民が1年半食べられるだけの穀物を備蓄している。そうした中、国会では地域の種苗、農家を守り、安全な食の確保、グローバルな有事にも自国産の食料を安定して供給すること等を指すいわゆるローカルフード法が超党派で参議院に提出された。米不足やグローバルな有事にも市民への食料供給を地域で出来るよう生産者と消費者の結びつきを強めるため、軽トラ市等の開催が望まれるが、市の見解は。

答 市は農産物販売マップ等により周知啓発を行っている。過去にも関係者から提案があったが、実施の意向を確認したところ、販売に割く時間がない、販売に回す余剰生産物がないといったご意見があり、また、農業者自身の取組も増えていることから、市では現在そうした活動に協力するほか、様々なイベントを通じ、生産者と消費者の交流等を図っているところである。

持続可能な行政運営における 「職員の確保」に対する考えは

戸田 馨



問 今後の人口減に伴い、職員（人材）の「確保」は重要なポイント。「採用」「離職」における課題認識、対応、今後の対応についての考えを伺う。

答 離職要因の把握、現状分析に努めながら、10月1日付採用等、新たな取り組みを含め、業務の繁閑に柔軟に対応している。また、広報、学生インターシップ、職場訪問等の受け入れを積極的に継続しながら、優秀な人材の確保と受験者数増にむけた採用活動を進めてゆく。

◆持続可能な下水道事業運営に対する考えは

問 今後、施設更新等による財政負担増が懸念されるが、安定的な財源確保についてどのように検討されているか。

答 下水道事業経営戦略のシミュレーション結果では、人口減に伴い大変厳しい事業経営となることが示されており、経費削減・効率的な事業運営・安定した収入源確保が必要。収入源である下水道使用料の見直しも視野に入れながら、持続可能な下水道事業の実現に向けた検討を進めてゆく。

クールシェルター等の取組について

飯島 正義



問 今年の夏もこの暑さは災害級とも認識せざるを得ません。市内熱中症被害状況とクールシェルター等の取組についてお聞きします。

答 市内の搬送者数は、令和5年度で62人、今年度8月末現在で66人。市が取組んでいるまちのクールオアシスは、公共施設7箇所、民間施設26箇所の合計33箇所が指定を受けています。熱中症特別警戒情報が発表された際は、吉川市役所、保健センター、中央公民館の3箇所がクーリングシェルターの指定避難施設となります。

◆認知症の方の見守り体制の強化を

問 年々認知症の行方不明者が増加することが社会問題となっています。少なくとも自治体で、QRコード付きの見守りシールを交付しています。新サービス導入の考えをお聞きします。

答 QRコードは有効な面もある一方、他の方にカメラをむけ難い側面もあります。位置情報サービスも多種多様。市の位置情報サービスはこれまで種類の物しか提供していませんでしたが、今年度から種類を定めず、それぞれの状況に応じた機器の購入費用を助成しています。

水防センターの整備内容・計画を 市民に周知を

遠藤 義法



問 鍋小路の吉川市水防センター整備は、令和6年度に設計を行い、令和8年度までに整備する計画。減災教育施設や平常時の施設活用、法面を活用したソリ滑りなどを今年度中までに決め、市民に知らせるべきではないか。

答 災害時には避難所の有無にかかわらず、避難してきた方々を想定した施設の整備、汚水処理方法、出された意見などについて庁内で協議し、令和6年度中に市民に示していきたい。

◆支払える国保税のために

問 令和12年度までの国保税完全統一は、一般会計からの法定外繰入を全廃するとしている。しかし、国はすべての法定外繰り入れ廃止を求めている。また、県の素案では保険税の減免実施が掲げられていた。市町村の意見で修正した内容には含まれていない。市の考えは。

答 全県統一国保税は、医療費や収納率の差は関係なく、同じ条件で実施することが最終目標。国も赤字は解消すべきとしており、サービスに差異があることは望ましくない。このことから反論すべきでない判断した。

**旧庁舎跡地内にある
英霊塔について**



松崎 誠

問 現在、旧庁舎跡地は福祉の拠点として整備計画が進められていて同地内には当市出身の戦没者の英霊塔があります。昭和45年に建立され老朽化も進み福祉の拠点整備に合わせて他の場所に英霊塔の移設を遺族会に提案されてはどうかと考えていますが考えをお聞きます。

答 現在、英霊塔の老朽化も進んでおり、遺族会として維持管理の部分と経費の負担も含め心配されていると認識しています。現在、移設も含め検討中で協議を進めています。

◆安全安心のまちづくりについて

問 河川防災ステーションは、令和9年3月末の完成に向け整備が進められ上部利用部分が縮小されたのか、また、水害時、水防センターへの避難ができるのかをお聞きます。

答 市では中央部道路の北側のみの上部利用を考えています。以前の計画だと、管理のうえで経費が大きく掛かってくると、地域の方からも広く利用する考えは無いと言われ規模を縮小し、また、水害時に避難できる場所が欲しいと強い意向もあり、避難所指定は難しいが避難できるスペースは必要と考えています。

平和事業の更なる充実を



雪田 きよみ

問 三郷市では教育委員会が東京大空襲を描いたアニメ映画などを所有し、学童等に貸し出している。市教育委員会の取り組みは。また、市立図書館所管の平和関連DVDについて、社会教育活動支援のため、上映権付DVDの市民団体への貸し出しを検討していただきたい。市の考えは。

答 教育委員会でのDVDの所有については把握していない。あれば貸し出すことに反対しない。図書館のDVDについては、他市の事例を参考にしながら検討する。

問 今年8月の市の「平和のつどい」での講演講師は40代の方だった。「戦争の第三世代として更に若い世代に戦争の悲惨さなどを伝えていくのが自分たちの役割であり、教育こそ本当に重要」と熱く語られた。その言葉にどのように答えていくのか、市の考えは。

答 人のいのちと人権を脇に置いた教育はないと校長・教頭・教員に話をしている。平和・いのちの教育をしていくことが重要。社会教育については図書や様々な教材について確認しつつ、予算を認識した上で貸出し等ができる状況になった場合には推し進めることも考えていく。

地域における「こども誰でも通園制度」の制度拡充等を求める意見書

今定例会には、4件の意見書が提出され、次の3件を可決、内閣総理大臣等へ送付しました。

意見書

議員提出議案

意見書は、地方自治法第99条に基づき、市の公益に関することについて、国会や関係行政庁に対し、議会の意見をまとめて提出する文書のことです。

「こども誰でも通園制度」は、全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に向けて支援を強化するため、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園給付制度である。地域の提供体制の状況も見

気象防災アドバイザーの活用について



中嶋 通治

問 自然災害が激甚化・頻発化している中、国や自治体の災害対応力をどのように高めるかが課題である。いつ起こるか分からない気象災害について、高度な知識を持つ気象アドバイザーの活用が必要と思うが見解は。

答 災害時における専門的知見について、災害対策本部会議で直接助言を頂ける点においては、有効であると考え。しかし、一人のアドバイザーが情報を24時間監視するのは難しい。突発的な大雨に対応するには、引き続き現状の民間会社による助言と、避難情報発令の判断等の対応を行う活用については県内でも事例が有るので、今後、情報収集に努める。

問 気象アドバイザーを講師とした研修会の開催を考えるのか。

答 当市では、災害対策について、職員研修会や自主防災組織の方を対象とした研修会、更には市民の方を対象とした講演会を実施している。今年度、小中学校の教職員向けの減災研修会に気象情報官を招き開催する。研修会に気象アドバイザーを招くことについて他自治体の事例を調査、検討する。



極めながら、令和8年度には法律に基
づく新たな給付制度として実施すべく、
令和5年度から各地で試行的な事業が
行われている。

地域の実情に合わせた速やかな制度
の導入に加え、育児と多様な働き方や
ライフスタイルの両立の推進のために、
政府に対して、左記の事項について特
段の取組みを求める。

一、実施事業所が不足する地域では、
十分な受け入れ先を確保するための施
策を講ずること。

一、自治体によって一人当たりの利用
時間の上限を増やせるようにすること。
一、障がい児や医療的ケア児を受け入
れられるようにすること。

一、潜在的待機児童の解消も視野に入
れて、重層的な見守り機能が発揮され
るような制度設計とすること

**「国際プラスチック条約」締結に向け
た更なる積極的姿勢を求める意見書**

プラスチックは人類に便利な生活
をもたらしたが、大量生産・大量消
費、さらに有害な物質が添加されたプ
ラスチックの生産等は3大危機（気候
変動・生物多様性の損失・汚染）の一
因だ。プラスチックの原料採掘、輸送、
製品製造、廃棄の過程において排出さ
れるCO₂。毎年約4億トンのプラス
チック製造品。推定1000万トンか
ら1200万トンの海洋流入。マイク
ロ・ナノプラスチック粒子は海洋だけ
でなく陸上の生態系、人間の健康にも
大きな影響を与えている。

国際社会は2040年までにプラス
チック汚染の根絶を目的に「国際プラ
スチック条約」締結に向け動き出した。
しかし、プラスチック依存の大きな
日本は、廃棄物管理や技術面における
積極的な貢献を果たす一方で、世界一
律の生産制限に対し消極的姿勢を示し
ている。同様の姿勢だったアメリカは
8月に方針転換し、プラスチックの生
産制限を支持することを明らかにした。
国際条約が締結されれば、環境をめ
ぐる多国間協力が大幅に促進され、公
共の福祉の増進も大きく飛躍する。日

本においても、国際社会と足並みをそ
ろえ積極的な姿勢で条約締結に向け取
り組むよう以下を求める。

- (1) バージンプラスチックの生産・消
費の持続可能な水準への国際的削減
- (2) 危険性があり現実的に根絶可能な
プラスチックを特定した上での国際的
禁止
- (3) 削減・リユース・安全なリサイク
ルを可能とする製品設計・性能の国際
的要求



**地域公共交通の維持・充実を図るため
国予算の大幅増額を求める意見書**

高齢化が進むなかで、路線バスやコ
ミュニティバス、デマンド交通など
地域公共交通を充実してほしいという
要望が吉川市でも高くなっています。
市は、市民要望に応えるべく令和5年
10月に吉川市地域公共交通協議会を設
置、地域公共交通計画の策定に向け検
討をはじめています。埼玉県内自治体

でも国の補助金や特別交付税を受けな
がら拡充の努力をしています。しかし、
補助金は計画の策定自治体が増加する
につれて金額が漸減している状況です。
さらに埼玉県内ではバス・タクシー

運転手の不足が深刻化し、路線バスの
減便・廃止に加え、バス事業者からは
コミュニティバスからの撤退表明や
相談が広がっています。このままでは
地域公共交通機関の崩壊を招き、地域
の暮らしを守ることができない状況に
なります。

国土交通省の「第二次交通政策基本
計画」では、「交通事業が独立採算制
を前提として存続することはこれまで
にも増して困難となっており、このま
までは、あらゆる地域において、路線
の廃止・撤退が雪崩を打つ『交通崩壊』
が起きかねない」と危機感を記してい
ます。

交通が直面する「危機」を乗り越え
るため、政府においては、下記の対策
を講ずるよう強く求めます。

記

- 1 地域公共交通確保維持事業をは
じめ、国の予算を大幅に増額すること
- 2 地域公共交通の維持・発展に向
けて、国と地方自治体が連携し、バ
ス・タクシー事業者の実情に即した
支援策の構築をさらに進めること。

9月定例会審議結果一覧

○=賛成、×=反対、議=議長(議決に加わりません)
◎=議案提出者、—=退席

	議決結果	セレクト			共産			公明		平和		自民		未来		無	無	無	
		菊名 克典	赤出川 義夫	中嶋 通治	稲葉 剛治	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	岩崎 京子	岩崎 小百合	降旗 聡	吉川 敏幸	松崎 誠	戸田 馨	林 美希	野村 拓郎
《市長提出議案》																			
吉川市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市地域公共交通協議会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決	○	○	○	議	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道の路線廃止及び認定について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	議	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度吉川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	議	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度吉川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度吉川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	議	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度吉川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	議	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	議決結果	セレクト				共産			公明		平和		自民		未来		無	無	無
		菊名 克典	赤出川 義夫	中嶋 通治	稲葉 剛治	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	岩崎 小百合	岩田 京子	降旗 聡	吉川 敏幸	松崎 誠	戸田 馨	林 美希	野村 拓郎
令和5年度吉川市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度吉川市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度吉川市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度吉川市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度吉川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度吉川市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
《議員提出議案》																			
地域における「こども誰でも通園制度」の制度拡充等を求める意見書	可決	○	○	○	議	×	×	×	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「国際プラスチック条約」締結に向けた更なる積極的姿勢を求める意見書	可決	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	×	×	○	×
米兵による性犯罪根絶のため日米地位協定の見直しを求める意見書	否決	×	×	×	議	○	○	◎	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×
地域公共交通の維持・充実を図るため、国予算の大幅増額を求める意見書	可決	○	○	○	議	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*会派名の「セレクト」は「SELECT吉川」、「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議団」、「平和」は「平和市民クラブ」、「自民」は「自由民主党吉川市議員団」、「未来」は「未来会議よしかわ」、の略です。「無」は会派に属さないものです。

「よしかわ議会だより」の音声版を「朗読サークルきんもくせい」の協力で作成しています。ご希望の方は、議会事務局へご連絡ください。

次の定例会の予定 市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます

日	月	火	水	木	金	土
	12月2日 本会議 (開会日)	12月3日 休会日 (議案調査)	12月4日 本会議 (議案審議)	12月5日 委員会 (総務健康・ こども教育)	12月6日 委員会 (建設生活)	12月7日 休会日
12月8日 休会日	12月9日 委員会 (請願審査)	12月10日 休会日 (委員長報告 作成日)	12月11日 本会議 (委員長報告)	12月12日 本会議 (一般質問)	12月13日 本会議 (一般質問)	12月14日 休会日
12月15日 休会日	12月16日 本会議 (一般質問・ 閉会日)	本会議は10時、委員会は9時30分に開会します。 本会議の様子はインターネットでもご覧いただけます。				

傍聴時のお願い

- 議場での言論に対し、拍手等により可否を表明するような行為を行わないこと
- 係員の指示に従うこと
- 騒ぎ立てる等議事を妨害しないこと
- 携帯電話等の電源を切ること
- 撮影・録音はしないこと



～ 会議録の冊子は本会議・委員会ともに次の場所で閲覧できます ～

市立図書館、視聴覚ライブラリー、中央公民館図書室、旭地区センター図書室、議会図書室、市政情報コーナー

編集後記

9月議会閉会日はすっかり秋の空気、夜は肌寒さを感じるほどでした。空の高さと風の心地よさを感じながらも、能登半島大雨災害の報道に沈む気持ちを抱いています。被災された方々へ心からお見舞いを申し上げます。吉川市議会においても災害対策としてのハード整備、避難を支援するソフト整備と様々な目線で議論されてまいりました。発災時、市民のみなさまそれぞれの備えや、みなさま同士のつながりが大変重要だと考えています。この秋も市民まつりや各地域での市民体育祭、民間団体のみなさまによるイベント等、多数開催されます。各事業がみなさまにとって良き交流のきっかけとなりますよう願っています。

林 美希

表紙の写真



今夏は、スーパーの棚から米が消え、令和の米騒動と言われましたが、8月下旬には稲刈りが始まり落ち着き始めたように感じています。9月14日には、吉川産農産物販売促進協議会主催の体験稲刈りが行われました。晴天の中、多くの家族連れの方々にご参加いただき、学びのある体験が出来たのではないかと思います。

吉川産のお米美味しいですよ。みなさま、地元のお米を食べましょう。

菊名 克典